

急速にIT化が進む中で犯罪も多様化

—— インターネットを利用した詐欺事件が急増中 ——

パーソナルコンピュータ(PC)やスマートフォン等の携帯端末などを使ってインターネットをしない日はほとんどない状況になってまいりました。そんな日本でいや世界で、私達を様々な魔の手が狙っている訳なのです。そこで今回は、それら犯罪の手口と被害の実態をご紹介申し上げると共に、防ぐ手段を検証しながらそれらの対策を考えてみることに致しましょう。

そもそもインターネットとは日本国内だけのネットワークではなく、世界中どこからでも情報を検索したり、情報を発信したりできる便利なシステムなのですが、だからこそ犯罪者達はそれを悪用しようと虎視眈々と狙っている訳なのです。

たとえば皆様もネット通販をご利用になったことがあるでしょう。楽天やアマゾン等はその代表的なものです、どんな小さなホームページからでも自分の気に入った物をネットを利用して買い求めることができるのですが、時にそれが詐欺犯罪の温床となってしまうことがあるのです。注文して代金を振り込んだのに商品が送られてこなかったり、粗悪な商品であったりなど、また逆に注文をしていないはずなのに着払いで変な物が送られて来たり等様々なケースがあるのです。その様な時は簡単にあきらめることなく、「クーリングオフ」の制度を利用したり、訳のわからない配送物は受取・支払いを拒否する等勇気を持ってきちっと対応することがとても重要になってくるのです。

またネット社会の中で犯罪に巻き込まれているのは、私達の様な個人ばかりではないのです。お金を取扱う金融機関を初めとして、インフラ(都市基盤)を構成する電気・ガス・水道・電話・鉄道・警察等のあらゆる企業や政府機関のコンピューターシステムに「ウィルス」を送り込んでハッカー達は社会のシステムそのものの自体を混乱させ様としていることも残念ながら事実である訳で、その対策については「いたちごっこ」の様相を呈しているといところなのです。



変な日本語…

超早い!!

3日か5日
届けます!!



外国人の
詐欺集団



コンピューター
ウィルスに
よる被害

